

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【公開番号】特開2009-175123(P2009-175123A)
 【公開日】平成21年8月6日(2009.8.6)
 【年通号数】公開・登録公報2009-031
 【出願番号】特願2008-253279(P2008-253279)
 【国際特許分類】

G 0 1 S 19/30 (2010.01)

H 0 4 B 1/707 (2011.01)

G 0 1 S 19/34 (2010.01)

【F I】

G 0 1 S 5/14 5 4 8

H 0 4 J 13/00 D

G 0 1 S 5/14 5 5 2

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

拡散符号で拡散変調された測位用信号の受信信号と前記拡散符号のレプリカ信号との相関演算処理を行う測位モードとして、第1モード用処理期間において相関値の平均化処理を行って相関値を出力する第1モード、及び、第2モード用処理期間において相関値の積算処理を行って相関値を出力する第2モードが有り、

前記第1モード用処理期間の中間時点と前記第2モード用処理期間の積算基準時点とを同一タイミングとして、前記第1モード及び前記第2モードを繰り返し実行することと、

前記第1モード用処理期間及び前記第2モード用処理期間のうちの少なくとも一方の期間におけるON/OFF期間の割合を可変に設定することと、

を含む相関演算処理実行方法。

【請求項2】

前記実行することは、前記第1モード用処理期間と前記第2モード用処理期間とを1/2ずらして並行して実行することである請求項1に記載の相関演算処理実行方法。

【請求項3】

前記割合を可変に設定することは、前記第1モード用処理期間及び前記第2モード用処理期間の両方の期間において同一タイミングのON期間及びOFF期間を設定することであり、

前記設定されたON期間の中間時点の到来間隔が前記第2モード用処理期間となり、前記設定されたOFF期間の中間時点の到来間隔が前記第1モード用処理期間となる請求項2に記載の相関演算処理実行方法。

【請求項4】

前記割合を可変に設定することは、前記第1モード用処理期間にON期間及びOFF期間を設定することであり、

前記第1モードのON期間の中間時点と前記第2モード用処理期間の積算基準時点とが同一タイミングとなる請求項1に記載の相関演算処理実行方法。

【請求項 5】

前記割合を可変に設定することは、前記第 2 モード用処理期間に ON 期間及び OFF 期間を設定することであり、

前記第 1 モード用処理期間の中間時点と前記第 2 モードの積算基準時点とが同一タイミングとなる請求項 1 に記載の関連演算処理実行方法。

【請求項 6】

前記割合に関する指示信号を入力することを更に含み、

前記割合を可変に設定することは、前記指示信号に基づいて、前記 ON / OFF 期間の割合を可変に設定することである、

請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載の関連演算処理実行方法。

【請求項 7】

拡散符号で拡散変調された測位用信号の受信信号と前記拡散符号のレプリカ信号との関連演算処理を行う測位モードとして、第 1 モード用処理期間において関連値の平均化処理を行って関連値を出力する第 1 モード、及び、第 2 モード用処理期間において関連値の積算処理を行って関連値を出力する第 2 モードを有し、前記第 1 モード用処理期間の中間時点と前記第 2 モード用処理期間の積算基準時点とを同一タイミングとして、前記第 1 モード及び前記第 2 モードを繰り返し実行する関連演算処理部の動作を制御する制御回路であって、

前記第 1 モード用処理期間及び前記第 2 モード用処理期間のうちの少なくとも一方の期間における ON / OFF 期間の割合を可変に設定する期間可変設定部と、

前記期間可変設定部により設定された前記割合に従って前記関連演算処理部の動作を制御する動作制御部と、

を備えた制御回路。

【請求項 8】

拡散符号で拡散変調された測位用信号の受信信号と前記拡散符号のレプリカ信号との関連演算処理を行う測位モードとして、第 1 モード用処理期間において関連値の平均化処理を行って関連値を出力する第 1 モード、及び、第 2 モード用処理期間において関連値の積算処理を行って関連値を出力する第 2 モードを有し、前記第 1 モード用処理期間の中間時点と前記第 2 モード用処理期間の積算基準時点とを同一タイミングとして、前記第 1 モード及び前記第 2 モードを繰り返し実行する関連演算処理回路と、

前記第 1 モード用処理期間及び前記第 2 モード用処理期間のうちの少なくとも一方の期間における ON / OFF 期間の割合を可変に設定する期間可変設定部を備えた制御回路と、

を具備した信号処理回路。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の信号処理回路と、

前記関連演算処理回路の関連結果を用いて測位演算を行う測位演算回路と、

を備え、

前記測位演算回路は、前記信号処理回路の前記制御回路に前記割合に関する指示信号を出力し、

前記制御回路の前記動作期間可変設定部は、前記指示信号に基づいて前記 ON / OFF 期間の割合を可変に設定する、

測位装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 発明の名称

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【発明の名称】 関連演算処理実行方法、制御回路、信号処理回路及び測位装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、相関演算処理実行方法、制御回路、信号処理回路及び測位装置に関する。